

地域における暮らしを心豊かにする取り組み

～家島小学校におけるミソドラマの実践を通して～

環境人間学部環境人間学科・臨床心理学専攻

学部3年生◎たざきだいち田崎大地・たなかまいな田中麻衣菜・てんがんすずみ天願鈴美・ますだきさき増田貴咲

・教授 いのうえやすこ井上靖子

キーワード

孤独や孤立対策・風土や人との繋がり・感情の浄化・地域心理臨床支援

研究概要

本研究は、新型コロナウイルス感染症拡大によって顕在化してきた地域における孤独や孤立の問題に対して、地域における暮らしを心豊かにする取り組みとして、家島小学校で実施した、ミソドラマによる体験演習の意義を検討することを目的としています。ミソドラマとは、Guggenbuhl, Allan (1993/2005) が学校や組織、地域社会の心理的課題に対する危機介入の方法として開発した集団心理療法です。参加者は、昔話、神話等を視聴し、そこからイメージされたものを描画に表現し、その後、即興の劇を演じるワークです。参加者が日頃、中々表現しにくい感情を昔話、神話等のイメージや身体を通して表現することができます。昨今、リモートワークの普及によって、地域で過ごす人々が増加している一方で、その地域の持つ自然や歴史、風土や人との繋がりを持つことが難しくなっています。ミソドラマにおいて、その地域に伝承される昔話を素材に用いることで、その地域特有の自然や歴史、風土に対する興味や関心を引き出し、自分の心で触発される感情を投影させながら、昔話の世界を自らの心身において体験化することができます。また、それをグループの人々と一緒に演じることで、同じ地域で暮らす人々との繋がり感を味わうことも可能だと考えられます。今回は、家島小学校で小学校5年生と6年生を対象としてミソドラマを実施した経過を報告します。参加した大学生や子ども達の意見や感想からその意義を検討していきます。



家島に伝承される昔話
に登場するカメ
「どんがめっさん」
家島の2022.6.22.撮影



「どんがめっさん」を
ペープサートで読み聞
かせしている場面。こ
の後、想像した絵を描
き、即興劇を実施。
2022.7.15 撮影

アピール ポイント

ミソドラマは、学校や組織、地域社会の心理的課題（いじめや暴力、トラブルを抱えた人間関係）に対して、物語イメージから触発された描画や即興劇という安全な枠組みで表現することで感情の浄化（カタルシス）、自己発見、人間関係の改善、情緒的な問題解決を意図しているセラピーです。本研究では、地域に伝承される昔話を素材に用いることで、地域における自然や歴史、風土を思い起こし、参加者同士の繋がりを持つことを可能にするグループセラピーとしての意義を強調します。今後、子どもだけではなく、地域における人々の交流の場や高齢者の集いにおける心や身体の活性化、人間関係づくり、認知症予防等にも活用できる方法だと考えられます。